報道発表資料

平成 21 年 8 月 6 日
独立行政法人 国民生活センター

調理器具の安全性
その 1「電気ミキサー」

１．目的

電気ミキサー[1)]は家庭で主にジュース等を作る目的で使用されている商品である。社団法人日本電機工業会によると、2007 年の国内出荷台数は約 64 万 8 千台であった[2)]。

国民生活センターには「電気ミキサーの部品を交換しようとしたときに、安全装置があるにもかかわらず急にカッターが回り出し、左手親指、人差し指、中指を切った。カッターが回り出した原因を調べてほしい」というテスト依頼のあった事例を含め、危害情報システム[3)]には 2004 年度以降 2009 年度（2009 年 5 月末登録分）までに、電気ミキサーで手指にけがを負うという事故事例が計 16 件寄せられている。中には「電気ミキサーにガラス容器をセットする前に電源プラグを差したら、スイッチが押された状態になっていたためカッターが突然回転し、右手人差し指を 12 針縫う切断寸前のけがをした」という深刻な事故事例もあった。

そこで電気ミキサーについて、手指のけがを防止するための安全性に着目したテストを行い、消費者へ情報提供することとした。

２．テスト実施期間

検体購入　：2009 年 5 月～6 月
テスト期間：2009 年 6 月～7 月

注 1）JIS C9609「電気ミキサ・電気ジューサ」
「ミキサ」とは、カッタ（刃）が容器内に取り付けられていて、主として果実類と水などを回転するカッタで粉砕、かくはん、混合する機能をもつもの。

注 2）社団法人日本電機工業会「ELECTRICAL INDUSTRIES IN JAPAN 2008」（「ジューサー・ミキサー」の国内出荷台数）より。ジューサーの国内出荷台数も含む。

注 3）商品やサービス等により生命や身体に危害を受けたり（危害情報）、そのおそれのある情報（危険情報）を全国の消費生活センター及び危害情報収集協力病院からオンラインで収集・分析し、消費者被害の未然防止・拡大防止に役立てることを目的として作られたシステム。

３．電気ミキサーについて

電気ミキサーは構造的に以下の 2 つに分類できる。

①容器と容器台座が分割できるもの（写真 1）･･･カッターが露出した状態になる。

②容器と容器台座が分割できないもの（写真 2）･･･カッターが露出した状態にならない。

写真 1．容器と容器台座が分割できるもの（例）

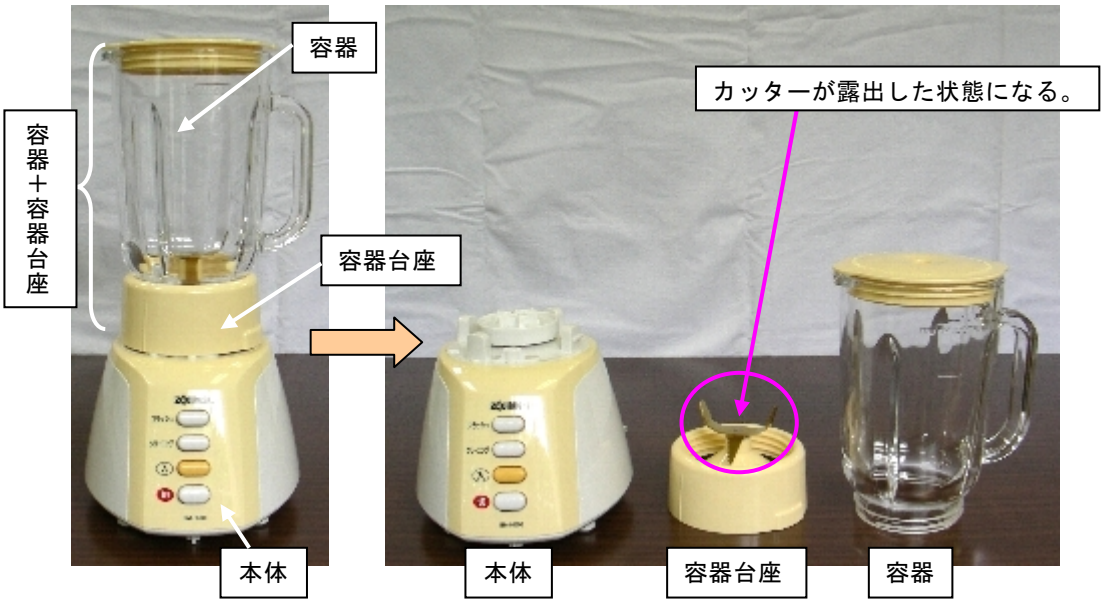
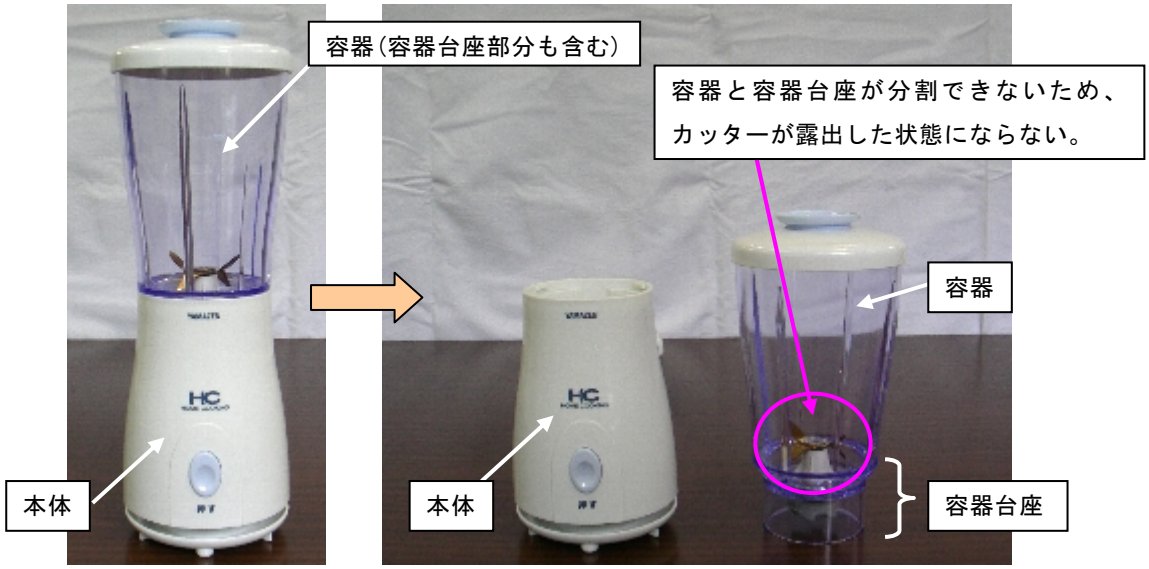


写真 2．容器と容器台座が分割できないもの（例）



４．主な事故事例

危害情報システムには 2004 年度以降 2009 年度（2009 年 5 月末登録分）までに、電気ミキサーで手指にけがを負うという事故事例が 16 件寄せられている。

【事例 1】

電気ミキサーにガラス容器をセットする前に電源プラグを差したら、スイッチが押された状態になっていたためカッターが突然回転し、右手人差し指を 12 針縫う切断寸前のけがをした。（2009 年 2 月受付　30 歳代　女性　大阪府）

【事例 2】

電気ミキサーの部品を交換しようとしたときに、安全装置があるにもかかわらず急にカッターが回り出し、左手親指、人差し指、中指を切った。

（2008 年 9 月受付　年齢不明　男性　宮城県）

【事例 3】

電気ミキサーのモーター台の上に、ガラス容器を乗せてカッターをセットしたら、一瞬カッターが回り、右手人差し指の第 1 関節の下まで切れた。20 針縫った。電源プラグは差し込んでいたがスイッチは入っていなかった。

（2007 年 6 月受付　50 歳代　女性　神奈川県）

【事例 4】

電気ミキサーのカッターを洗ってセットしようとしたら、スイッチが ON になっていて人差し指を切り 5 針縫った。（2006 年 8 月受付　40 歳代　女性　東京都）

【事例 5】

電気ミキサーに子供が手を入れたまま、ほかの子供がスイッチを入れてしまい、指 3 本の動脈と神経が切れるけがをした。

（2005 年 10 月受付　10 歳未満　男児　東京都）

５．テスト対象銘柄

事故事例を見ると、事故は電源スイッチが入ってしまったために、不意にカッターが作動したことで起こっていることが多い。容器と容器台座が分割できないもの（写真 2）は商品の構造上カッターが露出した状態にならないが、容器と容器台座が分割できるもの（写真 1）は、カッターが露出した状態になる。本来はカッターが露出した状態では電気ミキサーを使用することはないが、不意にカッターが作動するようなことがあると、事例のように手指にけがを負う危険がある。そこで今回は、容器と容器台座が分割できるものに着目してテストを行うこととした。

神奈川県内の電気店で購入可能であった電気ミキサーの中から、購入価格 7000 円以下、消費電力 150W～250W、カッター回転数が毎分 10000 回以上、容量 450ml～800ml のもの 8 社 8 銘柄を選び、テスト対象とした（表 1、巻末資料 1)。同一メーカーで同一タイプの電気ミキサーを多機種販売している場合は、ミキサー機能のみのシンプルな機種をテスト対象とした。

なお、容器と容器台座が分割できないもの（写真 2）については、巻末資料 4 に参考テスト結果として概要を示した。

表 1. テスト対象銘柄一覧

No.	銘柄名	型式	製造または販売者名	購入価格（税込）
1	ジュースミキサー	IK-8210	㈱泉精器製作所	¥2,980
2	ジュースミキサー	TM815	㈱テスコム	¥2,680
3	ジュースミキサー（ミル付）	MJM-T760	㈱山善	¥2,980
4	ミキサー	MX-S3G	東芝ホームアプライアンス㈱	¥7,000
5	ミキサー	SM-R50	三洋電機㈱	¥5,000
6	ミキサー なめらかファイバー	BM-HE08	象印マホービン㈱	¥5,100
7	ミル付きミキサー	HR-9391	燦坤日本電器㈱	¥3,480
8	ミルつきミキサー	SKP-C701	タイガー魔法瓶㈱	¥4,900

＊このテスト結果は、テストのために購入した商品のみに関するものである。

６．テスト結果

（１）カッターが露出した状態での作動確認テスト

事故事例にも見られたように、使用時以外（例えば、カッターを手入れするときなど）に不意にカッターが作動すると手指にけがを負う危険がある。そこで、カッターが露出した状態（本体に容器台座だけをセットした状態）での作動確認テストを行った。

カッターが露出した状態で作動してしまう危険なものがあった

カッターが露出した状態で電源スイッチを入れたところ、カッターが作動してしまうものが８銘柄中４銘柄（No.1～3、7）あった（写真 3、表 2）。ここで、実際にカッターに触れてしまった場合にどのようになるのか調べるために、作動しているカッターに指を想定したソーセージを接触させたところ、ソーセージはカッターでちぎれてしまい、極めて危険であることがわかった（写真 4、5）。他の４銘柄（No.4～6、8）はカッターが露出した状態では作動しなかった。

写真 3. カッターが露出した状態で作動する様子（例）

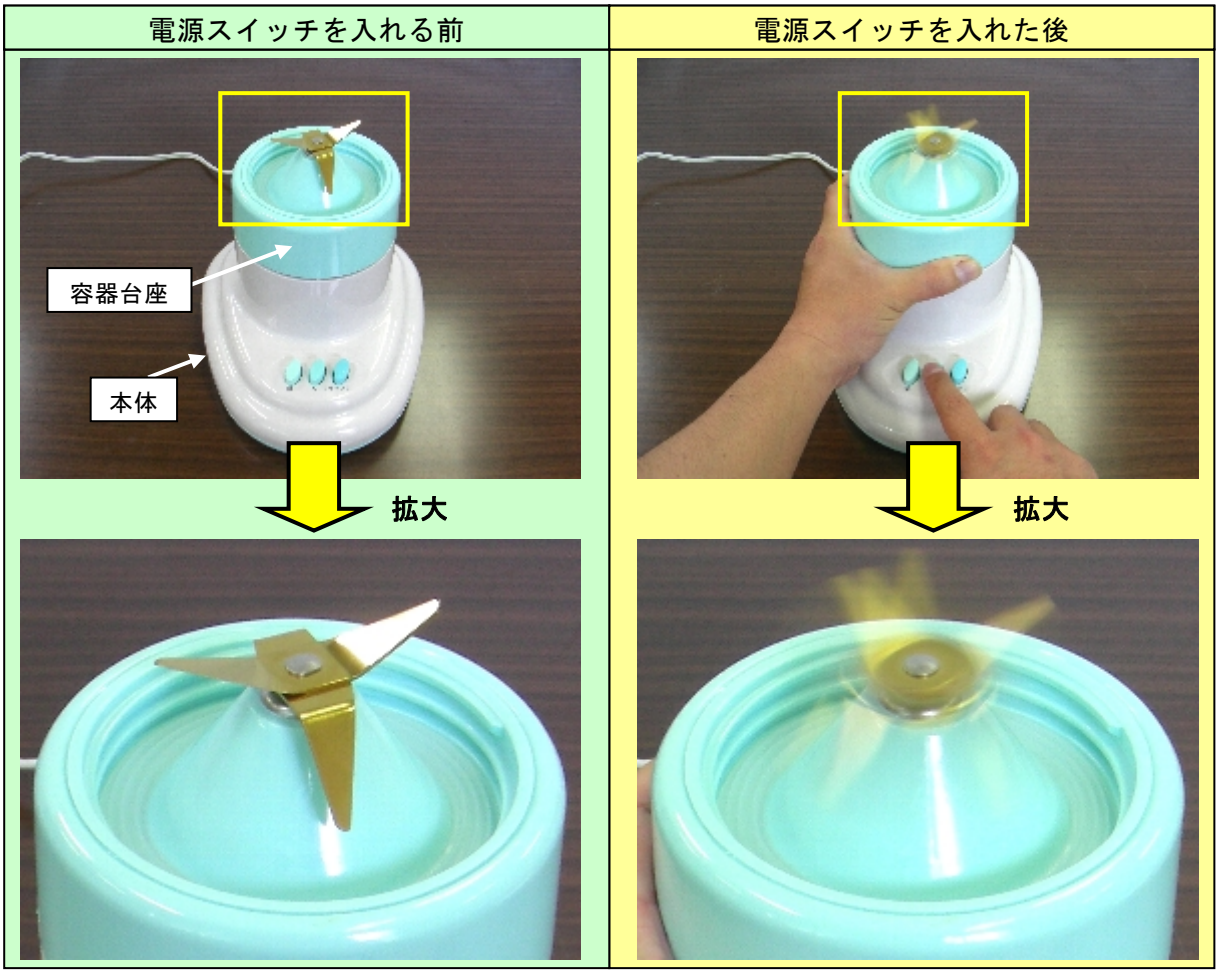


表 2. 作動確認テスト結果

No.	カッターが露出した状態で作動するか
1	作動する
2	
3	
4	作動しない
5	
6	
7	作動する
8	作動しない

写真 4. ソーセージがちぎれる様子

（左：カッター作動前、右：ソーセージがちぎれる様子）

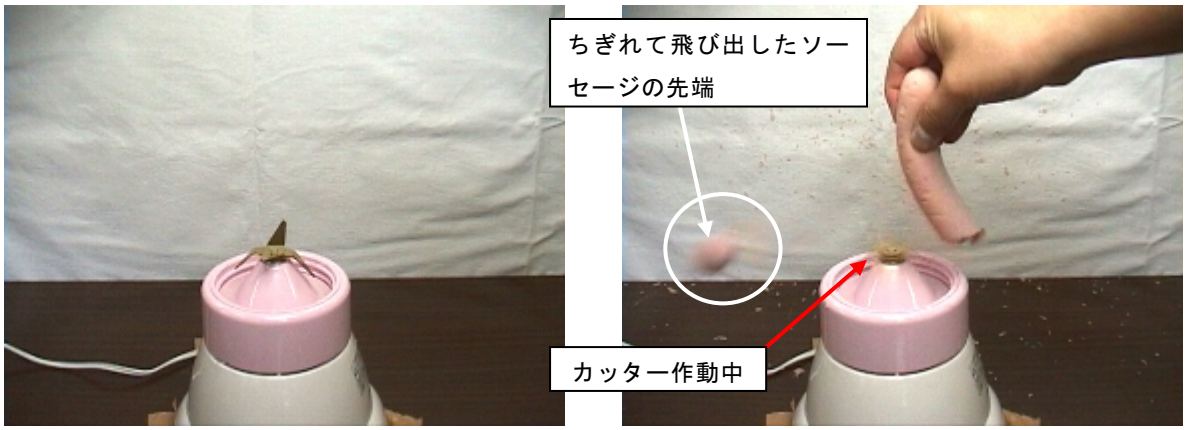
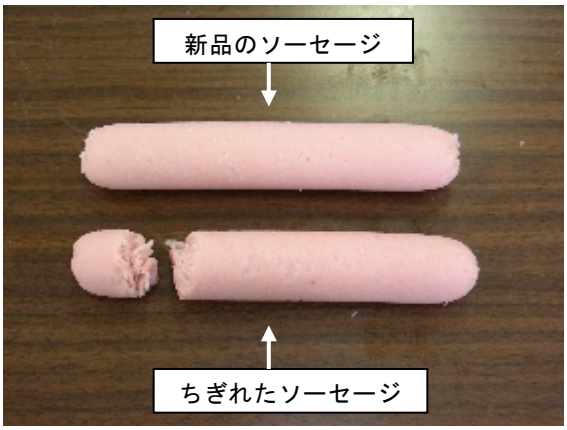


写真 5. ちぎれたソーセージの外観



（２）カッター作動に関する安全装置の有無

カッターが露出した状態で作動した 4 銘柄のうち 3 銘柄には安全装置が付いていなかった。また、残りの 1 銘柄は安全装置が本体上には付いているが、容器台座上にはなく不十分であった

カッターが露出した状態では作動しなかった 4 銘柄（No.4～6、8）について、取扱説明書などの表示（巻末資料 2）をもとに外観調査を行ったところ、本体に容器台座と容器をセットしないと電源スイッチが入らない（カッターが作動しない）安全装置[4)]が付いていることがわかった（写真 6、表 3）。

一方、カッターが露出した状態で作動した 4 銘柄（No.1～3、7）についても調べたところ、3 銘柄（No.1～3）には安全装置が付いていないことがわかった。なお、残りの 1 銘柄（No.7）は安全装置（写真 7）が本体上には付いているが、容器台座上には付いていないことがわかった。すなわち、本体に容器台座だけをセットした状態（容器台座に容器がセットされていない状態）では電源スイッチが入るため、カッターが作動するものであった（写真 8）。

写真 6. 安全装置の外観（例）

本体①に容器台座②と容器③をセットすると、それぞれの安全装置のスイッチが押され、電源スイッチが入る状態（通電可能）になる。従って、容器③をセットしなければ電源スイッチは入らない。

注 4）手指のけがを防止するための「カッター作動に関する安全装置」（以後、「安全装置」とする。）

表 3. 安全装置の有無

No.	カッター作動に関する安全装置の有無	
	本体上	容器台座上
1	付いていない	
2		
3		
4	付いている	
5		
6		
7	付いている	付いていない
8	付いている	

写真 7. 本体上の安全装置のスイッチ（No. 7）
（左：本体と容器台座と容器を分割した様子、右：安全装置のスイッチの拡大写真）

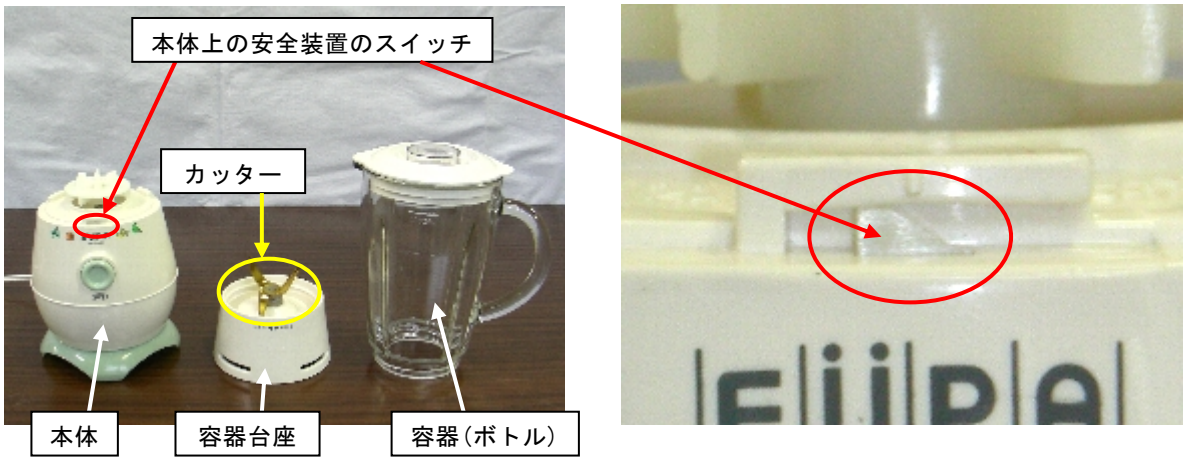
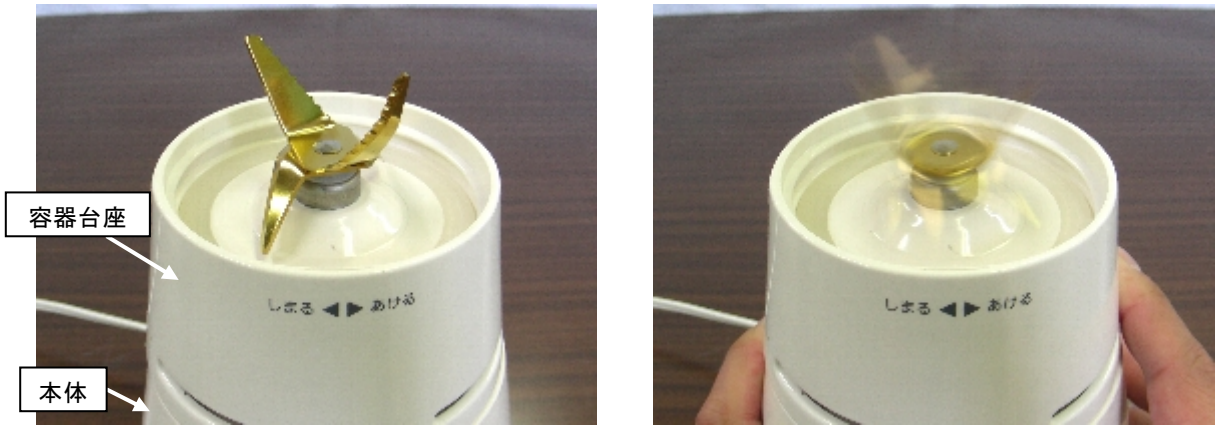


写真 8. カッターが露出した状態で作動する様子（No. 7）
（左：電源スイッチを入れる前、右：電源スイッチを入れた後）



（３）電源スイッチの種類

電源スイッチの種類は全 8 銘柄ともプッシュボタン式であった。また、使用直前に誤ってスイッチが押されないように、複数の操作を経ないとスイッチを押せないような工夫をしたものはなかった

「電気ミキサーに子供が手を入れたまま、ほかの子供がスイッチを入れてしまい、指 3 本の動脈と神経が切れるけがをした」という事故事例が寄せられていた。そこで電源スイッチの種類を調べたところ、全 8 銘柄ともプッシュボタン式であった（写真 9)。銘柄によっては、本体に容器台座と容器をセットしないと、スイッチを押せないもの（No.5、6）もあったが、全銘柄ともスタンバイ状態（電気ミキサーを使用する準備が終わって既に電源スイッチを押すだけの状態）では、容器内に手を入れていてもスイッチを押すとカッターが容易に作動してしまう構造であった。複数の操作を経ないとスイッチを押せないような工夫をしたものはなかった。

なお、参考品の中には容器の蓋が開いたままではカッターが作動しない、より安全性に配慮したもの（巻末資料 4）も見られた。

写真 9. 電源スイッチ（プッシュボタン式）の外観（例）

（４）安全装置についての表示

「ボトルを取り付けないと作動しない」と表示しているにもかかわらず、ボトル（容器）を取り付けていなくてもカッターが露出した状態で作動してしまい、安全装置について誤認を与えるような表示のものがあった

一連のテストから、安全装置が不十分なためカッターが露出した状態で作動してしまうものがあることがわかった（No.7）。そこで、当該商品の安全装置について表示を確認したところ、「ボトルを取り付けないと作動しない安全設計」との表示が外箱に見られた（写真 10、巻末資料 2）。この表示では、“カッターが露出した状態では作動しない”という誤認を与えかねない不適切な表示と思われる。

写真 10. 外箱の表示（No. 7）

７．消費者へのアドバイス

（１）電気ミキサーによる手指のけがを防止するため、使用時以外は必ずコンセントから電源プラグを抜く

事故事例を見ると、事故は電源スイッチが入ってしまったために、不意にカッターが作動したことで起こっていることが多い。電気ミキサーのカッターは電源を遮断すると作動することはない。使用時以外（例えば、容器に手を入れる必要があるときやカッターを手入れするときなど）は、必ずコンセントから電源プラグを抜くことを徹底する。

（２）本体に容器台座と容器を取り付けないと、カッターが作動しない安全装置が付いているものを選ぶとよい

容器と容器台座が分割できる電気ミキサーには、カッター作動に関する安全装置が付いているものと、付いていないものがあった。安全装置が付いていないものは、カッターが露出した状態でも電源スイッチが入り、カッターが作動して危険であった。一方、安全装置が付いているもの（1銘柄を除く）は、カッターが露出した状態では作動しなかった。

また､容器と容器台座が分割できないものは､商品の構造上カッターが露出しないため、カッターが露出した状態での作動は起こり得なかった。中には容器の蓋が開いたままではカッターが作動しない、より安全性に配慮したものもあった。

容器の中に食材を入れる際に手も一緒に入れてしまうことが考えられる。この点を考慮すると、容器の蓋が開いたままではカッターが作動しない構造のものは、事故防止にはより望ましいと思われる。

８．業界への要望

カッターが露出する構造のものは、必ず安全装置を付けるよう要望する

カッターが不意に作動して手指にけがを負う事故が発生している現状を見ると、安全性向上の観点から、カッターが露出する構造のものは、必ず安全装置を付けるよう要望する。中には容器の蓋が開いたままではカッターが作動しないものもあった。容器の中に食材を入れる際に手も一緒に入れてしまうことが考えられる。容器の蓋が開いたままではカッターが作動しない構造のものは、事故防止にはより望ましいと思われる。

また、子どもが電源スイッチを押してしまいけがをしたという事例があったことから、例えば、複数の操作を経ないとスイッチを押せない安全装置などについても、導入を検討する必要があると考えられる。

９．事業者への要望

「ボトルを取り付けないと作動しない」と表示しているにもかかわらず、ボトル（容器）を取り付けていなくてもカッターが露出した状態で作動してしまい、安全装置について誤認を与えるような表示のものがあった。カッターが露出した状態では作動しない安全装置に改良することを要望する

「ボトルを取り付けないと作動しない安全設計」との表示があったが、安全装置が不十分なため、カッターが露出した状態で作動してしまうものがあった。この表示では、“カッターが露出した状態では作動しない”という誤認を与えかねない。表示を改善するとともに、カッターが露出した状態では作動しない安全装置に改良することを要望する。

○要望先

社団法人 日本電機工業会

○情報提供先

内閣府 国民生活局 総務課 国民生活情報室
経済産業省 商務情報政策局 商務流通グループ 消費経済政策課
経済産業省 商務情報政策局 商務流通グループ 製品安全課

本件問い合わせ先
商品テスト部：042-758-3165

＜資料１＞ 仕様一覧（取扱説明書、外箱、本体などの表示より）

No.	電源	消費電力	回転数	容量	寸法	重量	定格時間	ｶｯﾀｰ作動に関する安全装置	PSEﾏｰｸ	生産国
1	AC100V 50/60Hz	150W	11,000回/分（無負荷時）	760mL	幅172×奥行206×高さ310mm	約2.35kg	連続（4分間運転、2分間停止のくり返し）	なし	あり	中国
2	AC100V 50-60Hz	160W	10,000回転/分	780ml	幅150×奥行き183×高さ320mm	本体0.9kg、ﾎﾞﾄﾙとﾎﾞﾄﾙ台約1.4kg	4分動作、2分休止の繰り返し使用で合計15分まで			
3	交流100V 50Hz-60Hz	230W	16,000±15%回転/分	760ml	幅約17×奥行約20.5×高さ約32.5cm	約2.2kg	3分間以内（3分間使用毎に20分間以上停止）			
4	交流100V 50Hz-60Hz 共用	195W	11,800回/分（定量水負荷時）	700ml	幅180×奥行185×高さ320mm	2.3kg	連続（4分間運転、2分間停止の繰り返し使用）	あり		
5	AC100V 50-60Hz 共用	195W	11,850回/分（定量水負荷時）	700mL	幅172×奥行149×高さ327mm	2.4kg（ﾎﾞﾄﾙ部1.2kg）	連続（4分間運転、2分間停止の繰り返し使用）			
6	交流100V 50/60Hz 共用	225W	10,500回/分（750mL定量水負荷時）	約750mL	幅約17×奥行約20×高さ約34.5cm	約2.7kg（ﾐｷｻｰ容器ｾｯﾄ約1.3kg）	連続（4分間運転、2分間停止の繰り返し使用）			
7	交流100V 50/60Hz	160W	20,400回転/分	450ml	幅約14.8×奥行約12×高さ約32.5cm	約2.39kg	3分（くり返し使用する場合は30分以上停止）			
8	100V 50-60Hz	150W	約10,500回/分（700mL水負荷時）	700mL	幅約18.2×奥行約16.1×高さ約32.2cm	約2.6kg	連続運転（4分間運転、2分間停止のくり返し）			

＜資料２＞ カッター作動に関する安全装置についての主な表示例

No.	カッター作動に関する安全装置についての主な表示例 （取扱説明書、外箱、本体などの表示より）
1	（カッター作動に関する安全装置が付いていないため、表示なし。）
2	
3	
4	・ﾎﾞﾄﾙ、ﾎﾞﾄﾙｻﾎﾟｰﾄ、本体をｾｯﾄしないと作動しない安全設計。 ・ﾎﾞﾄﾙとﾎﾞﾄﾙｻﾎﾟｰﾄ連動の安心設計。安全ｽｲｯﾁ構造。
5	・ﾎﾞﾄﾙ部分をｾｯﾄしないとｽｲｯﾁが入らない安全設計。 ・安全ｽｲｯﾁ（ﾎﾞﾄﾙ部をのせないとｽｲｯﾁが入りません。）
6	・安全ﾎﾞﾀﾝ（各部品を正しくｾｯﾄしないとｽｲｯﾁが入らないようにするためのものです。） ・ﾐｷｻｰ容器をﾐｷｻｰ容器台に取りつけてから本体にｾｯﾄしないと、安全ﾎﾞﾀﾝが作動し、ｽｲｯﾁが入らない構造になっています。 ・本体に容器と容器台をｾｯﾄしないとｽｲｯﾁが押せない安全設計。
7	・本体に容器台座をきちんと取り付けないと安全装置が働いて作動しないしくみになっています。 ・ﾎﾞﾄﾙを取り付けないと作動しない安全設計。
8	・安全ｽｲｯﾁ（ｶｯﾌﾟｾｯﾄを本体に取りつけないとｽｲｯﾁが入りません。）

＜資料３＞ カッター作動による手指のけがの防止についての主な注意表示例

No.	カッター作動による手指のけがの防止についての主な注意表示例 （取扱説明書、外箱、本体などの表示より）
1	・ｶｯﾀｰや回転部を露出したままで運転しない。 ・使用時以外は、電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜く。 ・必ずｽｲｯﾁ「切」を押してから、電源ﾌﾟﾗｸﾞを抜き差しする。 ・部品の取り付け、取り外し、及びお手入れをするときは、電源ﾌﾟﾗｸﾞを必ず抜く。 ・運転中にﾎﾞﾄﾙ、ふたの取り外しは行わない。 ・運転中にふたを開けたりﾎﾞﾄﾙの中へ指、ｽﾌﾟｰﾝ、箸など調理材料以外のものを入れない。 ・ｶｯﾀｰは鋭利なので直接手を触れない。 ・お手入れのしかた（電源ﾌﾟﾗｸﾞを抜き、ｶｯﾀｰの取り扱いに注意して行ってください。）
2	・ｶｯﾀｰや回転部を露出したままで動作させない。 ・使用後は必ず電源ｽｲｯﾁを切り、電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜く。 ・電源ｽｲｯﾁの「切」を確かめてから、電源ﾌﾟﾗｸﾞを抜き差しする。 ・ﾌﾀやﾎﾞﾄﾙの取り付け、取り外し及び、お手入れする時は、電源ﾌﾟﾗｸﾞを抜いておく。 ・動作中にﾌﾀやﾎﾞﾄﾙの取り付け、取り外しはしない。 ・ﾎﾞﾄﾙの中に指、ｽﾌﾟｰﾝ、箸など調理材料以外のものは入れない。 ・ｶｯﾀｰは鋭利なので直接手で触れない。
3	・ｶｯﾀｰや回転部を露出させたままで運転させない。 ・使用時以外は、電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜く。 ・ｶｯﾀｰが回転していないことを確かめてから電源ﾌﾟﾗｸﾞを抜き差しする。 ・ふた、ﾐｷｻｰﾎﾞﾄﾙやﾐﾙ容器の取り付け、取り外しのときは、電源ﾌﾟﾗｸﾞを抜いて行う。 ・運転中にふた、ﾐｷｻｰﾎﾞﾄﾙやﾐﾙ容器の取り付け、取り外しはしない。 ・ﾐｷｻｰﾎﾞﾄﾙやﾐﾙ容器の中に指、ｽﾌﾟｰﾝ、箸など調理材料以外のものを入れない。 ・ｶｯﾀｰは鋭利なので直接手をふれない。 ・使い方（ﾐｷｻｰﾎﾞﾄﾙは本体に確実にｾｯﾄしてください。運転切換ｽｲｯﾁが「切」になっていることを確認してから、電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄに差し込んでください。ﾐｷｻｰﾎﾞﾄﾙ台が本体に確実にはまっていることを確認してください。） ・お手入れのしかた（お手入れの際は必ず電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜くこと。）
4	・ｶｯﾀｰや、回転部を露出したまま運転しない。 ・使用時以外は、電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜く。 ・ｽｲｯﾁ「切」を確かめてから、電源ﾌﾟﾗｸﾞを抜き差しする。 ・部品の取り付け、取りはずしやお手入れするときはｽｲｯﾁを切り、電源ﾌﾟﾗｸﾞを抜く。 ・運転中にﾎﾞﾄﾙやふたの取り付け、取りはずしは行わない。 ・運転中に、ふたを開けたりﾎﾞﾄﾙの中や投入口へ指、ｽﾌﾟｰﾝ、はしなど調理材料以外を入れない。 ・ｶｯﾀｰは鋭利なので直接手を触れない。 ・安全ｽｲｯﾁを細い棒などで押さない。 ・安全ｽｲｯﾁのまわりは、こまめに掃除してください。 ・正しい使いかた（ﾎﾞﾄﾙをﾎﾞﾄﾙｻﾎﾟｰﾄにｾｯﾄしておく。） ・お手入れのしかた（電源ﾌﾟﾗｸﾞを抜いてからお手入れする。）
5	・ｶｯﾀｰや、回転部を露出したままで運転しない。 ・使用時以外は、電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜く。 ・ｽｲｯﾁ「切」を確かめてから、電源ﾌﾟﾗｸﾞを抜き差しする。 ・部品の取り付け、取り外し、及びお手入れするときは、ｽｲｯﾁを切り電源ﾌﾟﾗｸﾞを抜く。 ・運転中に容器、ふたの取り付け、取り外しは行なわない。 ・運転中に、ふたを開けたり容器の中へ指、ｽﾌﾟｰﾝ、はし等調理材料以外を入れない。 ・ｶｯﾀｰは鋭利なので直接手を触れない。 ・安全ｽｲｯﾁを細い棒などで押さない。 ・お手入れのしかた（電源ﾌﾟﾗｸﾞを抜いてください）
6	・ｶｯﾀｰや、回転部を露出したままで運転しない。 ・使用時以外は差込みﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜く。 ・ｽｲｯﾁ「切」を確かめてから、差込みﾌﾟﾗｸﾞを抜き差しする。 ・部品の取りつけ、取りはずし、およびお手入れするときは、ｽｲｯﾁを切り差込みﾌﾟﾗｸﾞを抜く。 ・運転中に容器、ふたの取りつけ、取りはずしは行わない。 ・運転中にふたを開けたり、容器の中へ指、ｽﾌﾟｰﾝ、はしなど調理材料以外を入れない。 ・ｶｯﾀｰは鋭利なので直接手を触れない。 ・必ずﾐｷｻｰ容器を取りつけて使用する。 ・安全ﾎﾞﾀﾝを指や細い棒などで絶対に押さない。 ・お手入れ（分解、組み立て、お手入れは、差込みﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜いて行ってください。）
7	・ｶｯﾀｰや回転部を露出したままで運転しないでください。 ・使用時以外は、差込ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜いてください。 ・ｽｲｯﾁ「切」を確かめてから、差込ﾌﾟﾗｸﾞを抜き差ししてください。 ・部品の取り付け、取り外し及びお手入れをするときは、ｽｲｯﾁを切り差込ﾌﾟﾗｸﾞを抜いてから行なってください。 ・運転中に容器、ふたの取り付け、取り外しは行わないでください。 ・運転中にふたを開けたり容器の中及び投入口の中へ指、ｽﾌﾟｰﾝ、はし等調理材料以外を入れないでください。 ・ｶｯﾀｰは鋭利ですので直接手を触れないようにしてください。 ・容器は必ず専用の容器台座に取り付けてご使用ください。 ・ご使用方法（ガラス容器と容器台座はしっかり固定します。ｽｲｯﾁを押したまま差込ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄに差し込まないでください。ｶﾞﾗｽ容器が本体にきちんとｾｯﾄされているのを確認してください。） ・お手入れの仕方（差込ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜いてからお手入れをする。）
8	・各ｶｯﾀｰや本体の回転部を露出したままで使わない。 ・使用時以外は、差込ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜く。 ・ｽｲｯﾁが切れていることを確かめてから、差込ﾌﾟﾗｸﾞを抜き差しする。 ・お手入れするときは、「STOP」ｽｲｯﾁを押して差込ﾌﾟﾗｸﾞを抜き、回転が止まってから行う。 ・運転中に、各ｶｯﾌﾟ、ふたの取りつけ、取りはずしは行わない。 ・各ｶｯﾌﾟの中に指やｽﾌﾟｰﾝ、はしなどを入れて調理しない。 ・各ｶｯﾀｰは鋭利なので、直接手を触れない。 ・安全ｽｲｯﾁを押さない。

＜資料４＞ 参考テスト結果：容器と容器台座が分割できないものについて

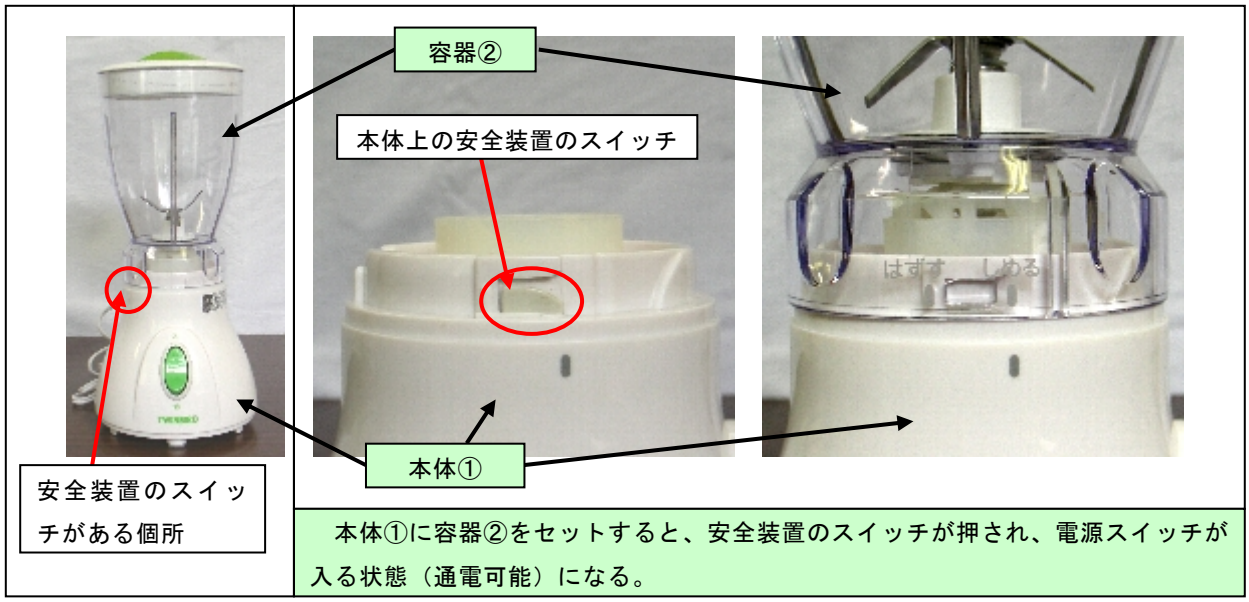
神奈川県内の電気店でよく見られた容器と容器台座が分割できないものを参考品（表 4）として購入し、外観調査を行ったところ、全銘柄とも商品の構造上カッターが露出した状態にはならないことが確認できた（P2 の写真 2）。また、本体に容器をセットしていないと電源スイッチが入らない（カッターが作動しない）安全装置も全銘柄に付いていた（写真 11）。中には容器の蓋が開いたままではカッターが作動しない、より安全性に配慮したものもあった（No.10）。なお、電源スイッチの種類は、シーソ式 1 銘柄（No.9）、ダイヤル式 1 銘柄（No.10）で、他の 4 銘柄はプッシュボタン式であった。

表 4. 参考品一覧

No.	銘柄名	型式	製造または販売者名	購入価格（税込）	消費電力	回転数	寸法	PSEマーク	生産国
9	健康専科 コンパクトミキサー	KC-4507	ツインバード工業㈱	¥2,000	120W	表示なし	約130×約140×約295mm	あり	中国
10	ファイバーミキサー	MX-X38	パナソニック㈱	¥5,200	240W	11,000回/分（700ml水負荷時）	幅約20.3×奥行約21.4×高さ約35.1cm		
11	ミキサー	SMX-41	燦坤日本電器㈱	¥1,380	160W	21,000回転/分	幅106×奥行116×高さ292mm		
12	ミル＆ミキサー	TML160	㈱テスコム	¥2,200	130W	20,000回/分（ミル使用時）	幅100×奥行き105×高さ300mm（ﾐｷｻｰﾎﾞﾄﾙ取付時）		
13	ミルサー	IFM-650D	岩谷産業㈱	¥3,700	160W	毎分2万回転	表示なし		
14	ミル ミキサー	MR-280	㈱山善	¥1,980	130W	22,300回/分	幅10×奥行10×高さ29.5cm		

＊このテスト結果は、テストのために購入した商品のみに関するものである。

写真 11. 安全装置の外観（例）



本体①に容器②をセットすると、安全装置のスイッチが押され、電源スイッチが入る状態（通電可能）になる。

<title>調理器具の安全性その 1「電気ミキサー」</title>